

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	須坂版画美術館・平塚 運一版画美術館	所在地	市大字野辺1386番地8（須坂アール）			
施設分類	市民文化系施設	所管課	文化スポーツ課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	950.67			
居住誘導区域	○	防災関連施設	○			
設置根拠	須坂市美術館等文化 施設条例	設置の目的・経緯	市民文化の向上に資するため		交通アクセ ス	須坂駅から車で8分
事業内容	収蔵品の展示及び企画 展の開催等	貸付の有無	有			
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設の管理運営			
備考（その他特記事項）						



2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	1階	地下		建築面積		延床面積	950.67
構造 （主たる建物）	RC造（版画美術館） W造（平塚運一版画 美術館）				建築年度 （主たる建物）	1991年度	築年数 （主たる建物）	34年
取得価格	354,634,000				耐震化の状況	新耐震基準施設		
帳簿原価	355,768,000				バリアフリー対応	対応済		
減価償却累計額	239,826,079				省エネルギーの対応状況	照明LED化		
老朽化率	67%				施設の劣化状況	2024年長寿命化改修工事		

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料	0	1,540	0	513
	光熱水費				
	維持補修費	739	0	250	330
	減価償却費	6,035	6,035	6,035	6,035
	指定管理料	17,860	17,860	21,970	19,230
	その他	2,239	1,240	557	1,345
費用合計		26,873	26,675	28,812	27,453
収入	利用料等収入	3,335	2,749	1,475	2,520
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		3,335	2,749	1,475	2,520

収支	-23,538	-23,926	-27,337	-24,934
利用者一人当たりコスト	1.54	1.86	3.19	2.02

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額	148,632	内容	2024年度 長寿命化改修工事
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象		
開館時間	平日	午前9時～午後5時
	休日	午前9時～午後5時
休館日	水曜日（祝日の場合は開館） 12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	17,483	14,306	9,026	13,605	-34%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	須坂版画美術館・平塚運一版画美術館
---------	-------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
合計		-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率			
合計		-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	C	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
これまでの改修履歴	C	1	必要な改修がある程度行われている
合計		5	

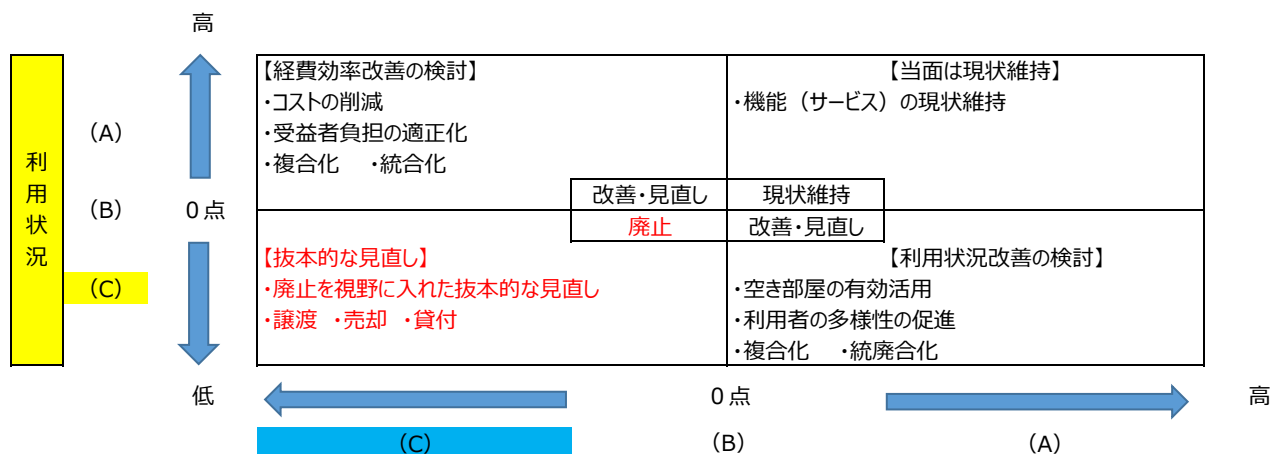
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	-1
	合計点数	-3

【抜本的な見直し】



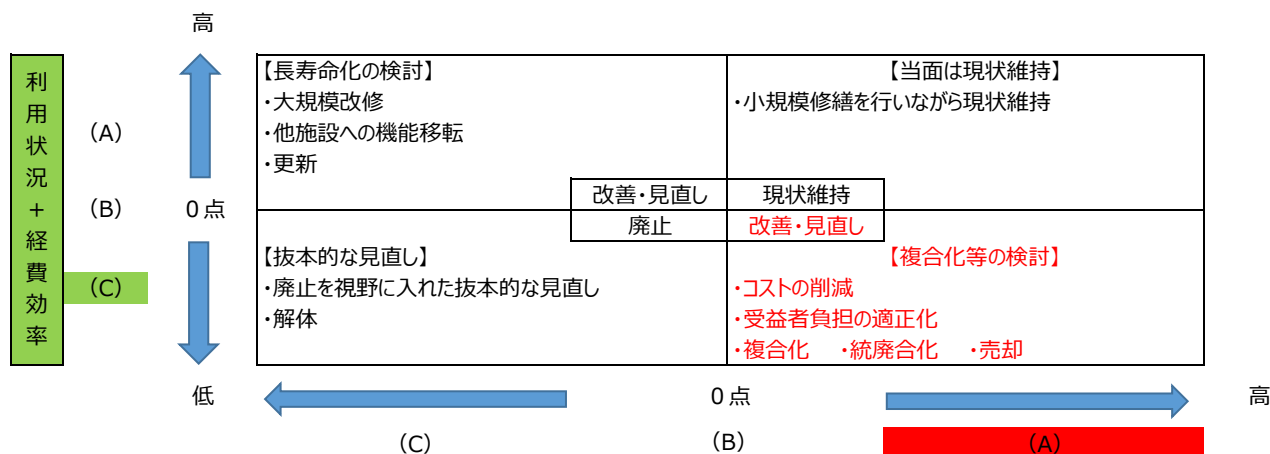
経費効率

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	5	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	-3	縦軸
	合計	2	

【複合化等の検討】



建物性能

評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下